

検査IV 書道

1

(解答上の注意) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。

一 次は『高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)』に示された「第7節 芸術 第2款 各科目 第10 書道Ⅰ 1目標」と「第11 書道Ⅱ 1目標」である。空欄に適語を補い、文章を完成させなさい。

第10 書道Ⅰ

1 目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・①を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、②の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書よさや美しさを③し、意図に基づいて構想し表現を④したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、⑤にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

第11 書道Ⅱ

1 目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・①を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 書よさや美しさを③し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を④したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、⑤にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

検査Ⅳ 書道

2

二 次の図版の①から⑩の作品名を漢字で書きなさい。また、作者が判明している作品は作者名も漢字で書きなさい。

検査Ⅳ

書道

検査Ⅳ 書道

三 次の図版の作品について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 図版の作品名、及び筆者と伝えられている人物名を漢字で書きなさい。
- (2) 傍線部①部分で、変体仮名として使用されている全ての文字の字源を楷書で書きなさい。
- (3) 傍線部②の意味を次の中から選び、記号で答えなさい

ア 尋ねてみよう	イ 用ってみよう	ウ 聞いてみよう	エ 訪ねてみよう
----------	----------	----------	----------

検査Ⅳ 書道

5

四 表具の分野に関する以下の問いに答えなさい。

(1) 掛軸の各部の名称を漢字で答えなさい

(2) 冊子本で次のアイウの順で作る装丁方法の名称をそれぞれ漢字で答えなさい。

五 篆刻の分野に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 図版の印に刻された文字を楷書体で書きなさい。
- (2) 印は紙が普及する前には、木簡や竹簡を封じた粘土の上に押され、開封を禁じるとともに文書等の発信者を表すものとして用いられたが、それらはなんと呼ばれたか漢字で答えなさい。

検査Ⅳ 書道

六 次の図版の作品について、以下の問いに答えなさい。

(1) 傍線部①は「世人多く樂毅が時に苜・即墨きよを抜かざりしを以て劣れりと為す」となるべきところ、一字脱字が見られる。どこにどの字が入るべきか、入る箇所の上下の文字と入るべき字を答えなさい。

(2) 傍線部②の書き下し文が「豈に速まねかざるの変を致すを知らざらんや」となるよう、返り点送り仮名を全て答えなさい。

(3) 傍線部③は本文筆者の自著と考えられるが筆者名を漢字で答えなさい。また、同一筆者で同じく東大寺献物帳に載せられている樂毅論と並び称される作品名を漢字で答えなさい。

(実技検査上の注意)

受験番号は鉛筆で作品の左下に書くこと。作品には体裁よく落款を入れること。ただし名前の部分は「○○」とする。押印はしない。提出の際、作品は折り曲げないこと。

七 左の人物の氏名、住所、学歴(すべて仮想)を別紙履歴書に体裁よく書きなさい。(配付されたボールペンを使用すること)

令和3年7月1日現在
氏名 信州岳斗
(ふりがな)：しんしゅう がくと
性別 男
生年月日 平成15年5月16日生 満18歳
現住所 〒399・0005 長野県北松本市太田2・18・7
(ふりがな)：ながのけんきたまつもとおおた
連絡先 〒386・0043 長野県南上田市角谷5250
(ふりがな)：ながのけんみなみうえだしかくや
学歴 平成31年4月 長野県松本東(高等学校入学)
令和4年3月 長野県松本東高等学校卒業見込

八 左の俳句を半切二分の一の用紙に異なる書風で二点、漢字仮名交じりの書として体裁よく書きなさい。(用紙の縦・横、構成は自由。ただし漢字と仮名の変換は認めない)

大蛍ゆらりゆらりと通りけり	一茶の句○○○かく
---------------	-----------

九 次に図版資料が八点ある。この中より(1)「初唐の三大家」、(2)「三筆」の作品を選別し、さらにそれぞれから一点を選び、半紙に臨書しなさい。(縦長二行書きのこと)

十 左の句を隸書（八分隸）で半切四分の一の紙に一行で書きなさい。

安心立命

十一 左の「蓬萊切」を半紙に臨書しなさい。ただし連綿はそのままに、三行以上の散らし書き構成で表現すること。（用紙の縦・横は自由とする）

履 歴 書

令和 年 月 日現在

写真をはる位置
(30×40mm)

ふりがな			性別
氏名			
生年月日	昭和・平成	年 月 日生 (満 歳)	
ふりがな			
現住所	〒		
ふりがな			
連絡先	〒		

(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)

学 歴 ・ 職 歴	平成 令和	年 月	高等学校入学
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	

(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない)

	取得年月	資格等の名称
資格等		
趣味・特技		
志望の動機		
備考		

記入不要
校内外の諸活動